

**製品名: AIG-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06702**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AIG1
別名	AIG1; CGI-103; Androgen-induced gene 1 protein; AIG-1
遺伝子 ID	51390.0
SwissProt ID	Q9NVV5
免疫原	抗血清はヒト AIG1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 196-245

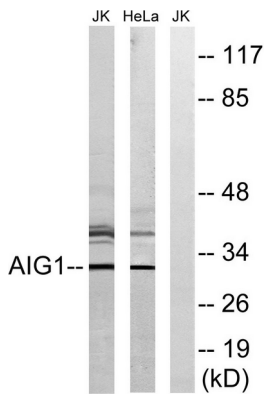
**背景**

機能:アンドロゲンによって調節される毛包の成長に役割を果たす可能性があります。誘導:ジヒドロテストステロン (DHT) によるものです。類似性:AIG1 ファミリーに属します。組織特異性:心臓、卵巣、精巣、肝臓、腎臓で高く発現し、脾臓、前立腺、脳、骨格

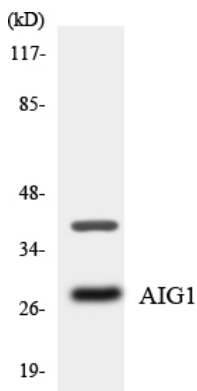
筋、膵臓、小腸、結腸では低レベルで発現し、末梢血白血球、胸腺、肺、胎盤では検出されません。AIG1 の発現は、女性の毛包よりも男性の毛包で高い。機能: アンドロゲン制御による毛包の成長に関与している可能性がある。誘導: ジヒドロテストステロン (DHT) による。類似性: AIG1 ファミリーに属する。組織特異性: 心臓、卵巣、精巣、肝臓、腎臓で高発現し、膵臓、前立腺、脳、骨格筋、膵臓、小腸、結腸では低発現し、末梢血白血球、胸腺、肺、胎盤では検出されない。AIG1 の発現は、女性の毛包よりも男性の毛包で高い。

## 研究分野

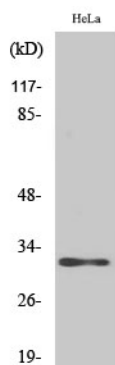
## 画像データ



AIG1 抗体を用いた HeLa 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析  
右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



AIG1 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



AIG-1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析